

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」に関する助産師教育内容の検討	<p>※ 第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成15年5月16日(金)～17日(土) 場所:東京都立保健科学大学 1. 教育制度委員会では「助産基礎教育における教育のコア」の検討を行い、産褥期の診断とケア、出産・育児期のケアの教育内容について検討中。 ※ 全国助産師教育協議会NEWS LETTER発行(年4回) 1. NEWS LETTER No.42 2004. 2.26 関連記事 平成15年度全国助産師教育協議会中国・四国地区ブロック研修会 テーマ「健やか親子21」の政策内容と具体的事例の展開報告 日 時:平成15年8月1日 会場:岡山大学医学部保健学科会議室 特別講演「ヘルスプロモーションの理論—健やか親子21との関連について」 川田智恵子先生(岡山大学) シンポジウム「地域の特殊性に応じた助産師活動の実践」 「当院におけるすくすく学級の活動」岸本長代氏(倉敷成人病センター) 「わいわいサークルの活動」藤本律子氏(国立病院岡山医療センター) 「地域の助産所活動」花田幸江氏(花田助産院) 参加者:30名</p>	<p>1. 第40回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成16年5月21日(金)～22日(土) 場所:東京都立保健科学大学 2. 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事をとりあげる。 3. 第30回全国助産師教育協議会研修会を開催 期間・内容は未定</p>
13. 全国助産師教育協議会		<p>※ 第29回全国助産師教育協議会研修会を開催 メインテーマ:「子産み子育ての原点と助産師教育」 期間:平成16年3月19日(金)・20日(土) 会場:東京都立保健科学大学 課題関連の内容 講演「ぬくもりの子育て」堀内頸先生(聖マリアンナ) シンポジウム「子産み子育てを阻む性暴力と助産師の役割」 参加者:3月19日128名 20日127名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
15. 全国保健所長会	45.46.47.55.58.	<p>45 虐待の発生予防、早期発見・対応、児の保護・支援の推進</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援の推進</p> <p>45と46のテーマ:地域保健総合推進事業「児童虐待予防対策における保健所の役割に関する研究」(分担事業者 多摩立川保健所長 長野みさ子)の一環としてフォーラムを開催し、地域保健福祉関係者が児童相談所との連携、乳幼児健診等における虐待予防のための育児支援、エンパワメントを目指した育児ママ教室等の情報を共有し、意見交換をした。</p> <p>47 子どもを虐待していると思う親への支援</p> <p>58 育児不安・虐待親のグループの活動への支援</p> <p>47と58のテーマ:同上の研究事業の一環として、大阪府富田林保健所において、「児童虐待予防活動」を実施し、母親の気づき、自身の回復、仲間作りを支援した。</p> <p>55 育児支援に重点をおいた乳幼児健康診査の実施の推進</p> <p>同上の研究事業の一環として東京都南多摩保健所において「子どもの虐待予防活動の展開」を実施し、子ども虐待予防スクリーニングシートの改定を行った。</p>	<p>15年度に引き続き、地域保健総合推進事業「児童虐待予防対策における保健所の役割に関する研究」を実施する予定。また、新たに育児支援に重点をおいた児童虐待予防の研究班を編成する予定。</p>
16. (社)全国保健センター連合会	45.46.47.48.49.50.51.53.58.61.	<p>* 研修会（テーマ：上記のいずれも該当）</p> <p>1. 親と子のこころの健康づくり中央研修会(参加者数78名)</p> <p>目的：保健センターを拠点とする子育て支援推進を目的として、乳幼児期の育児支援、食生活、遊び・親子ふれあいの意義等、事例検討や討議を通じ、これからの支援に役立てる。</p> <p>地区：東京都（東京厚生年金会館）</p> <p>期日：平成16年2月12日・13日</p> <p>効果・その他：各講義や市町村における子育て支援事業の報告、参加者相互の情報交換を通じ、主要なテーマである「育児不安の解消と子どものこころの安らかな成長の促進」について、研修を行うことができた。</p>	<p>* 研修会を継続実施</p> <p>1. 親と子のこころの健康づくり中央研修会一次世代育成支援推進のために－</p> <p>前年度と異なる内容：次世代育成支援推進を目的として、保健センターを拠点とする子育て支援事業・児童虐待予防等、子どものこころの問題と対応策について研修する。</p> <p>2. ブロック別母子保健事業担当者研修会</p> <p>前年度と異なる内容：次の6地区で実施。北海道、宮城県、群馬県、奈良県、香川県、佐賀県。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
16. (社)全国保健センター連合会		<p>2. ブロック別母子保健事業担当者研修会（延べ参加者数978名） 目的：第4課題を母子保健関係者に周知徹底し、地域における育児支援のレベルアップを進める。 地区（6地区）：北海道、岩手県、埼玉県、三重県、島根県、福岡県 北海道地区：札幌医科大学臨床大講堂 平成15年12月4日（参加者数297名） 東北・北海道地区：岩手県医師会館 平成15年9月5日（参加者数150名） 関東・甲信越地区：埼玉県民健康センター 平成15年9月12日（参加者数106名） 東海・北陸・近畿地区：津市アストホール 平成15年10月7日（参加者数85名） 中国・四国地区：ホテル穴道湖 平成15年10月10日（参加者数164名） 九州地区：福岡県吉塚合同庁舎 平成15年11月14日（参加者数176名） 効果・その他：担当者(参加者)に対し具体的な母子保健事業の推進方法等を研修することで、各市町村での母子保健事業活性化への布石となった。</p>	<p>3. 東西ブロック別「親子のいきいき学級セミナー」 前年度と異なる内容：親子のこころの問題をテーマとして「絵本と出会う・親子ふれあい事業」や「遊びの教室」等、保健センターにおける母子保健事業の目的及びプログラミング・実習等の子育て支援の具体的方法を研修する。実施地区は北海道、佐賀県。 4. 「市町村保健計画21」中央研修会－健康日本21・健やか親子21推進に向けて－ 前年度と異なる内容：大阪府で実施予定 * 父親の育児参加推進事業(テーマ:45・46・47・48・49・50・51・55・58) 1. 父親の育児参加を考える委員会の開催 両親学級のプログラムの見直しや地域・職域連携の方法等、子育て中の家庭支援のあり方について委員会を開催し、検討する。 2. 家庭用パンフレットの頒布 保健センターでの両親学級等で配布するための家庭用パンフレットを制作・頒布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。</p>
16. (社)全国保健センター連合会		<p>3. 東西ブロック別「親子のいきいき学級セミナー」(延べ参加者数104名) 目的：健やか親子21推進の一環として、親になるための準備として「両親(母親)学級」のプログラミング・実習(妊娠体操等)等の支援方法を研修する。 地区（2地区）：福島県、島根県 東ブロック：福島ビューホテル 平成15年7月24日・25日（参加者数44名） 西ブロック：ホテル白鳥 平成15年6月5日・6日（参加者数60名） 効果・その他：健やか親子21を踏まえたシンポジウムを設け、さまざまな立場からの具体的な取り組みを紹介・議論し、地域における子育て支援について熟考する場となった。</p>	<p>* 「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の検討の継続 前年度と異なる内容：活動の成果である地域育児支援システム構築に関するガイドブックを制作する。 * 出版物等 前年度と同様に実施の予定 * ホームページによる情報提供 前年度と同様に実施の予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
16. (社)全国保健センター連合会		<p>4. 「市町村保健計画21」中央研修会－健康日本21・健やか親子21推進に向けて－ (テーマ：健やか親子21全般) (参加者数33名) 目的：市町村における「健康日本21」「健やか親子21」地方計画策定中の市町村を対象に、地域保健情報の収集と解析等について、研修を行う。 地区：東京都 前期：東京厚生年金会館 期日：平成15年9月18日・19日 後期：大橋会館 期日：平成16年1月13日・14日 効果・その他：市町村での地方計画策定・推進・評価にあたり、グループワークや事例検討を交えた実践的な研修を行ったことで、効率的な取り組みへの足がかりとなった。 *研究(テーマ：上記のいずれも該当) 「地域における子育て支援システムの構築と普及に関する研究」の検討 モデル地区の充実を図りつつ、子育て支援に取り組んでいる実践者を中心に「周産期からの支援システム」「子育て支援活動の広がり」「支援グループのネットワーク化」をテーマにワークショップを行った。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
16.(社)全国保健センター連合会		<p>*絵本と出会う・親子ふれあい事業 (テーマ45・46・47・48・49・50・51・55・58) 絵本と媒体に、親子のコミュニケーションを育み、地域の育児支援ネットワークを広げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ「絵本と赤ちゃん」制作 2. 東西ブロック別「絵本と出会う・親子ふれあいフォーラム」開催 地区(2地区): 埼玉県、愛媛県 東ブロック: 大宮ソニックシティ 平成16年2月27日(参加者数225名) 西ブロック: メルパルク松山 平成16年1月23日(参加者数130名) <p>効果・その他: モデル事業の事例報告により、事業をより具体的に捉えることができた。また多職種間での意見交換は、事業への共通認識を持つ貴重な場となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 事業キャンペーン用パンフレット「絵本と出会う」頒布 4. 家庭用パンフレット「絵本と赤ちゃん」頒布 <p>※3・4ともに、保健センター、都道府県、図書館、児童館等に頒布 *出版物等(テーマ: 上記のいずれも該当)</p>	
16.(社)全国保健センター連合会		<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載 2. 子育て関係のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布 3. プレイコーナー備品(育児用遊具)の配分整備 <p>*ホームページによる情報提供(テーマ: 上記のいずれも該当)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全保連ホームページに下記項目を掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・全国の保健センターのホームページをリンク ・市町村保健活動の事例を紹介 ・「絵本と出会う・親子ふれあい事業」の紹介 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17.全国保健師長会	45	<p>45 虐待の発生予防・早期発見・対応・児の保護・支援の推進 *研修会の実施 目的：虐待予防支援体制を考える。 参加人数(対象者)：1,052人(保健・医療・福祉・教育関係者) 開催数、方法等：21回 効果、その他：関係者間の課題が共有され、虐待予防における支援体制の整備がはかられた。 *虐待予防ネットワーク会議 目的：虐待早期発見介入のためのチェックリスト表を作成し、関係機関と連携を図り、虐待予防・早期発見・早期支援を効果的に行う。 参加人数(対象者)：1,138人(保健・医療・福祉・教育関係者) 開催数、方法：50回 効果、その他：・母子保健の課題が整理された。 ・子育てサポートすくすくガイドの作成 ・関係機関が集まり、情報を共有することで連携が強化され、更に効果的な支援が出来た。 ・虐待の要因をもつハイリスク妊産婦へ早期支援が可能となった。</p>	
17.全国保健師長会		<p>*調査研究を実施（地域保健総合推進事業） 研究名：効果的児童虐待予防に関する研究 目的：周産期から乳児期の児童虐待予防支援の実態を明らかにし、保健機関で行う虐待予防を考える。 研究方法：アンケート調査、聞き取り調査 効果、その他：周産期からの虐待予防については、従来からの母子保健事業の中で意識的に取り組まれていた。母子保健事業を通じて全数の育児家庭に関われる機会をもっている保健師が虐待予防の認識を持ち活動することは極めて重要な意味を持つ。周産期から乳児期の虐待予防は医療機関との連携システムの中に養育者の状況や退院後の支援者の有無等、虐待予防活動に必要な情報を把握するための工夫が必要と考える。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17.全国保健師長会	45.46.48.49	<p>45 虐待の発生予防・早期発見・対応・児の保護・支援の推進</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援の推進</p> <p>48 親がゆつくりと気分で子どもと過ごすための支援の推進</p> <p>49 育児について相談できる環境の整備</p> <p>*相談事業 目的：育児不安を抱える親が育児の不安の解決や親子の関係の改善を目指す。 参加人数（対象者）：1,993人（乳幼児） 開催数、方法等：247回 効果、その他：・親と子の関係がスムーズになった。 ・子どもの障害の早期発見や予防的な関わりが出来るようになった。 ・心理面での個別相談により親の対応が変わった。</p> <p>*子育てひろば 目的：母親の友達づくりのきっかけの場をつくり、安心して子育てが出来る環境を整備し、育児不安の軽減をはかる。 参加人数（対象者）：32,527人 開催数、方法等：962回 効果、その他：・母親同志交流がもて育児不安が解消した。 ・子育て中の不安や悩みの軽減や解消がはかられた。 ・育児不安の解消を図り、親の心に余裕が出来、子どもの心に安らかな発達を促進することが出来た。</p> <p>45 虐待の発生予防・早期発見・対応・児の保護・支援の推進</p> <p>46 子育てに自信が持てるような支援の推進</p>	
17.全国保健師長会		<p>49 育児について相談できる環境の整備</p> <p>*家庭訪問 目的：健診未受診者やハイリスク児に対して育児不安の軽減に努める。 参加人数（対象者）：2285人 開催数・方法等： 効果、その他：育児不安の軽減に努めた。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	49.53.	<p>53 周産期医療施設から退院したハイリスク児へのフォロー体制の確立 *ハイリスク妊産婦等支援連絡会議 目的：妊娠出産育児の過程におけるハイリスク児を早期から継続して支援ができる体制の充実を図る。 参加人数（対象者）：45人（医療機関 市町村 保健所） 開催数・方法等：3回 効果・その他：出産後の育児支援も視点においた。妊娠中から継続支援の充実を図る体制の確認が出来、養育困難が予測される事例の早期把握・対応にもつながることが期待される。</p> <p>49 育児について相談できる環境の整備 *母子保健組織の育成 目的：会員が相互連絡と共通の問題を把握し、解決にむけて努力すると共に組織の育成強化をはかる。 参加人数（対象者）：一般 開催数・方法等：実態調査 670人 会議 6回 180人 効果、その他：会員が家庭を中心に地域住民をも巻き込んだ健康づくり活動を進めていっている。このような活動は育児不安の予防には効果的である。</p> <p>*育児支援ネットワーク 目的：医療機関、保健所、福祉事務所の連携を強化し、身体的、家庭的、社会的に危機的な母子を迅速に支援するためのネットワークを構築する。 参加人数（対象者）：547人 開催数、方法等：15回（病院・保健所、福祉事務所） 効果、その他：母子支援に関してお互いに情報を共有し、理解が深まった。</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	46. 子育てに自信が持てるような支援の推進		<p>46. 子育てに自信が持てるような支援の推進</p> <p>* 赤ちゃんを含め、子どもを抱っここの仕方など日常の赤ちゃんとの関わり方をわかりやすく啓発する媒体を作成し、広く周知する。</p> <p>目的：子育ての経験の少ない親が増加していることから、毎日の生活の場面で赤ちゃんに触れあうことの大切さや楽しさを伝えるとともに、注意すべき点を盛り込んだ(ゆさぶられっこ症候群など)などについてPRする。</p> <p>方法：啓発するための効果的な媒体の作成 都道府県支部が中心となり、相談事業などを開催し配布する。</p> <p>* 赤ちゃんの何でも相談（仮称）の開催</p> <p>目的：子育てに関する相談窓口を開設し、子育てに関する不安を抱える親の相談に応じることにより、子育てに自信をもつことができるよう支援する。</p> <p>方法：都道府県支部単位で開催</p>
20. (社)日本医師会	49. ①病後児保育（乳幼児健康支援一時預かり事業）の推進	<p>49. 育児について相談できる環境の整備</p> <p>小冊子「出産前小児保健指導（プレネイタル・ビジット）事業Q&A」作成 作成部数：3000部 配布先：都道府県医師会・都市区医師会等</p> <p>①病後児保育の推進</p> <p>小冊子「乳幼児健康支援一時預かり事業Q&A」作成 作成部数：3000部 配布先：都道府県医師会・都市区医師会等</p>	<p>49. 育児について相談できる環境の整備</p> <p>出産前小児保健指導(プレネイタル・ビジット)事業の推進</p> <p>①病後児保育（乳幼児健康支援一時預かり事業）の推進</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
21.(社)日本栄養士会	46.子育てに自信が持てるような支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備 60.栄養・食生活の改善	46.子育てに自信が持てるような支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備 60.栄養・食生活の改善 *「子どもの食事・親子連続講座」(3回連続講座)を実施 目的：食べ物を大切にすることを育むと同時に、食の重要性について親子で認識できる機会を設け、正しい食習慣形成や健全な親子関係への支援を行う。 参加対象者：3歳～就学前のお子さんとその保護者約20組 開催数：北海道・埼玉県・兵庫県・岡山県・高知県にて各々3回連続講座。 開催内容：親子簡単クッキング、食教育、食事相談コーナー 効果：食の楽しさと食の大切さを理解していただくことができた。親子間や同年代の子どもとその保護者とが交流できる機会となり、食事相談も気軽に実施できた。 なお、保育所を利用したことにより、協力を得た保育所職員にも食に対する理解が深められ、さらに、地域の方に保育所を知ってもらうことができ、地域に密着した子育て支援活動を推進するための一つの足がかりとなった。	46.子育てに自信が持てるような支援の推進 49.育児について相談できる環境の整備 60.栄養・食生活の改善 *「子どもの食事・親子連続講座」(3回連続講座)を実施 目的：平成15年度に引き続き、食べ物を大切にすることを育むと同時に食の重要性について親子で認識できる機会を設け、正しい食習慣形成や健全な親子関係への支援を行う。 参加対象者：3歳～就学前のお子さんとその保護者約20組 開催数：青森県・富山県・石川県・長野県・三重県・滋賀県・奈良県・沖縄県にて各々3回連続講座。 開催内容：親子簡単クッキング、食教育、食事相談コーナー
21.(社)日本栄養士会		*「児童福祉施設におけるクッキング講座」を実施 目的：摂取不足になりがちな栄養素（カルシウム等）の必要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。 参加対象者：児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員等 開催数：宮城県・栃木県・神奈川県・福井県・長野県・岐阜県・島根県・広島県・香川県・宮崎県にて各2回ずつ実施。 開催内容：スキムミルクを使用した調理実習と「食育」に関する講演。 効果：新メニューの学習や調理技術等、活用の幅をひろげられる機会となった。また、「食育」に関する各種最新情報の習得と他施設の職員や他職種との情報交換により、「食育」の大切さを相互に理解することができた。	*「児童福祉施設におけるクッキング講座」を実施 目的：平成15年度に引き続き、摂取不足の栄養素（カルシウム等）の必要性を意識づける機会を設け、健康に役立つ食事づくりの向上を目指す。 参加対象者：児童福祉施設等に勤務している給食担当職員および指導員等 開催数：北海道・青森県・岩手県・新潟県・山梨県・三重県・滋賀県・兵庫県・奈良県・岡山県・山口県・徳島県・福岡県・大分県・沖縄県にて各2回ずつ実施。 開催内容：スキムミルクを使用した調理実習と「食育」に関する講演を行う。 *「食育リーフレット」を活用した食育

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）

-子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
21. (社)日本栄養士会		<p>* 「児童福祉担当栄養士研修会」を実施 目的: 栄養士の専門性の向上を図り、子どもの栄養管理、多様化する保育への対応、地域の子育て支援等への参画など、わが国の児童福祉の発展向上に寄与することを目的とする。 参加対象者: 児童福祉施設勤務管理栄養士・栄養士、市町村児童福祉行政担当管理栄養士・栄養士 開催場所: 東京会場(254名)・大阪会場(240名) 開催内容: 「食育」に関する講演と事例報告。 効果: 乳幼児期からの「食育」の必要性を理解し、保育所や地域でのネットワークづくり、「食育」活動の取り組みの方策を学ぶことができた。 * 「食育リーフレット」を活用した食育 目的: 食育リーフレットとアンケートを活用し、その結果から家庭の食事の様子・親子関係を把握して、次の指導に反映させる。 参加対象者: 保育所あるいは地域の保護者 配布方法: 講演会、懇談会、調理実習、行事等の食教育の教材として使用。 総配布枚数: 7402枚(希望者) 配布方法: 講演会、懇談会、調理実習、行事等の食教育の教材として使用。 効果: リーフレットを活用することにより、食育の導入をスムーズにすることができた。家族で食事をする大切さを伝え、子ども・家族の健康について考えるきっかけとなり、保護者の意識の変化がみられた。</p>	<p>* 新たな「食育リーフレット」の作成と頒布 目的: 食育リーフレットとアンケートを活用し、その結果から家庭の食事の様子・親子関係を把握して、次の指導に反映させる。 参加対象者: 保育所あるいは地域の保護者 配布方法: 講演会、懇談会、調理実習、行事等の食教育の教材として使用。 * 保育所栄養士業務マニュアルの作成 目的: 保育所栄養士が円滑かつ適切な栄養管理を行うためのマニュアルを作成し、適切な業務遂行の一助とする。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題4）
 -子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
21.(社)日本栄養士会		<p>* 保育所栄養士業務の実態調査 目的：超少子化時代を迎え社会環境が激変する中で、食事を通じた子どもの健やかな育成や子育て支援が必要になっている。さらに「食育」に関心が高まっている中、保育所における栄養業務の実態や食育の実践状況を把握し、保育所の栄養管理業務を明確化し、その充実を図ることを目的に、「保育所栄養士業務の実態調査(基礎・個別)」を実施する。</p> <p>〈基礎調査〉 対象者：保育所管理栄養士・栄養士（会員・非会員を含む） 5,162名 調査方法：往復はがきによる質問調査 実施期間：平成15年9月～10月</p> <p>〈個別調査〉 対象者：基礎調査において、年間食育計画を「あり」と回答した481名 調査方法：質問事項のプレテストを行い、調査内容の妥当性と問題点の抽出を行い、アンケート調査を実施 実施期間：平成15年12月～平成16年1月 効果：保育所における栄養管理業務の状況が明確化されたことにより、栄養管理業務を確立するとともに、適切な栄養管理業務の展開を図る資料となった。</p> <p>* 保育所栄養士業務マニュアルの作成 目的：保育所栄養士が円滑かつ適切な栄養管理業務を行うためのマニュアルを作成し、適切な業務遂行の一助とする。 方法：保育所栄養士実態調査で得られた有効事例を活用し、また、会員からの意見や資料をもとに実践事例や各種帳簿等を網羅した内容のマニュアル作成を進めている。</p>	